



様式第9(第5条関係)
(その1)

令和 7年 4月 1日

新城市議会議長

長 田 共 永 様

氏名 竹下修平

令和6年度政務活動費収支報告について

新城市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり
令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

令和6年度政務活動費収支報告書

氏 名 竹下修平

(会派にあっては、名称及び代表者氏名)

1 収 入

政務活動費 150,000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	0	
広 報 費	141,570	市政報告書印刷、新聞折込
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	0	共同使用コピー機リース料コピー使用料____0円
資 料 購 入 費	0	
合 計	141,570	✓

3 残 額

 8,430 円 ✓

- (注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。
2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。



令和6年12月定例会一般質問概要

1.健康づくりについて

①新城市クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）について、実績と反響は。

→令和6年度は10か所を指定し、6月から10月までの間に月30人ほど利用のある施設もあった。熱中症が疑われるような体調不良が涼まることで回復できた、涼みたい時に利用できて便利などの声があった。

竹下の提案:気候変動に応じて設置期間の臨機応変な対応と、設置箇所の増設を。

②大塚製薬株式会社との連携協定締結後の取組状況は。

→令和6年度の取組としては主に以下の3点。

- 1.熱中症に関する知識を学ぶ熱中症アンバサダー講座の実施。
- 2.若い男女が将来のライフプランを考えて生活や健康と向き合うプレコンセプションケア講座に利用する媒体や資料の収受。
- 3.市民の健康づくりを応援するしんしろ健康マイレージ参加者への景品提供。

③しんしろ健康マイレージの利用状況と令和6年度内の見通しは。

→利用状況は、チャレンジ達成者に発行するカードの配布数で見ると令和3年度が33枚、令和4年度が25枚、令和5年度は40枚で、女性が7割を占めており、40代以上の方が増加している。令和6年度は、11月末時点で27人だが、例年明けから提出が増える傾向にあることから、今年度は50人の利用を見込んでいる。

竹下の提案:利用者増のためにアプリ導入や現金代わりのポイント支給も検討されたい。

④しんしろ健康づくり21計画（第2次）について、中間評価報告書公表後の主な取組実績と次期計画策定に向けたスケジュールは。

→がん検診の受診率向上を図るため、がん検診費用のワンコイン化や健康イベントなどで検診の重要性を伝えた。また、歯・口腔の健康の分野では、歯科教育の実施やフッ化物洗口の充実により、むし歯のない子どもの割合が約11%増えた。次期計画策定に向けては、第2回策定会議を開催し、2月に予定しているパブリックコメントの意見を踏まえ、3月中に策定・公表する予定。

⑤令和6年10月17日、18日に第86回全国都市問題会議「健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～」が開催され、開催地の姫路市長からは、マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化等の報告があったが市の現状認識は。

→本件に関して、総務省が令和4年度に実証実験を行い、その結果を基にシステムの改修等を行い、今年度には全国の67消防本部で実証事業を実施。当該システムは正確な病院受診歴や既往歴、現在服用中の薬の情報等を得られるため、適切な応急処置や適切な病院選定に一定の効果があると考えている。ただし、運用には機器の整備費用やランニングコスト等も発生するため、導入についてしっかりと検討していく。

竹下の提案:今までなら助けられなかった命を1人でも多く救うために早期導入を。



新城市議会議員

たけした

しゅうへい

竹下 修平

市政活動報告

2025 SPRING

Vol.8



日頃から新城市議会へのご理解・ご支援、誠にありがとうございます。
より一層充実した議会活動のため、皆さまのご意見ご感想をお聞かせ下さい。

市議としての活動も7年が経過し、任期満了まで残り1年を切りました。1つ1つの要望や事業と向き合い、任期中に1つでも多くの政策執行につなげてまいりますので、お気軽にお声掛けいただければ幸いです。

本号では、一般質問のやりとりや次年度予算案について、といった議会活動の一部を報告させていただきますので最後までぜひご覧ください。



～竹下修平 市政報告会開催のお知らせ～

開催日時／場所

- ① 4月20日(日)15時～16時（野田公民館にて）
- ② 4月27日(日)15時～16時（中市場公民館にて）

主なテーマ

- ・新城市政、市議会の近況報告
- ・新城市令和7年度予算について
- ・質疑応答



発行責任者：新城市議会議員 竹下修平(080-6923-0336)

◆地域の人事部組織構築準備事業 (事業費 6,431千円)

現在、市内の人材不足は深刻であり、特に中小企業においては従業員の高齢化が進んでいる。個社単位での採用活動は限界にきているため、経済産業省が地域一体となって人材の獲得・育成・定着に取り組む「地域の人事部」を推進している。「中核人材の育成・確保」を軸とし、企業間交流や採用支援を行い意欲ある若者から選ばれる企業になれるよう、地域一体となって取り組む。

◆移住定住OSI事業(事業費 2,190千円)

- ①発信する(Outreach) 新城市を知ってもらい、交流人口や関係人口の創出のためにSNSやイベント等でシティプロモーションを積極的に行う。
- ②確保する(Secure) 移住関連イベントへ参加し、移住者の確保へと繋げる。また、移住する際に必要となる住まいや働く場の確保に努める。
- ③調査する(Investigate) 効果的な移住定住施策のために移住希望者や若者の意識調査を行う。これらを総合的に実施し、移住定住者確保、地域コミュニティ維持、人口減少の抑制に努める。



インスタグラム



五葉の森展望台

◆保全林環境管理事業(五葉の森整備) (事業費 7,289千円)

富岡地区の環境保全林整備として実施された「五葉の森」は経年劣化による区域内の休憩施設等の老朽化等が目立ち、地域からも再整備の声が。新たな玄関口としての豊橋新城スマートインターチェンジ(仮称)の供用開始予定を見据え、五葉の森内の市が管理する施設(休憩所、案内板、展望台)を安全管理のために修繕する。



◆豊橋新城スマートIC(仮称)整備事業 (事業費 160,501千円)

豊橋新城スマートIC(仮称)は、令和3年8月6日に新規事業化の決定がされた。今後は早期供用に向け、共同事業者となる豊橋市、中日本高速道路株式会社と共に事業を実施していく。令和7年度はスマートIC ランプ部の工事と交差点部の物件補償と交差点改良工事を行っていく。

令和7年度新城市 ◎注目事業◎

◆「ラーケーションの日」モデル事業 (事業費 36,911千円)

家庭での主体的な学び・体験的な学びを応援する。愛知県では、「休み方改革」プロジェクトとして、ワーク・ライフ・バランスの充実に取り組んでおり、令和5年10月から、平日に学校外(家や地域)で学習活動を家族で考え、計画・実行することができ「ラーケーション」の日が取得できるようになった。年に一人3日まで取ることができ、欠席扱いにならない。この「ラーケーションの日」をより円滑に、より有意義に活用するため、モデル事業として展開する。各小中学校にラーケーション支援員(校務支援員)・非常勤講師を配置し、サポート体制充実を図る。

◆新城市制20周年記念事業 (事業費 2,895千円)

新城市は令和7年10月1日に市制20周年を迎える。この大きな節目を市民の皆様とともに祝い、未来に向かって新たなスタートをするため、新城市制20周年記念式典を開催する。式典では長篠陣太鼓・こども陣太鼓と書道パフォーマンスによるオープニング、各種表彰、しんしろ星の子合唱団によるアトラクションを行う。



馬防柵

◆長篠・設楽原の戦い450年記念事業 (事業費 3,616千円)

令和7年は長篠・設楽原の戦いから450年であり、日本の歴史を大きく変えたと言われる長篠・設楽原の戦いが行われた場所が私たちの住む新城市に残されている。450年という大きな節目は市外からの注目を浴びやすく、これまでにない新城の大きなPRの機会ともいえる。長篠・設楽原の戦いや戦国ゆかりの地などからブース出展などを行う戦国博覧会(仮称)の開催や合戦ゆかりのグッズの作成や書籍出版などを行っていく。

◆市子ども医療費助成事業 (事業費 111,033千円)

子どもを産み育てる環境づくりを推進し、子育て世代の経済的支援と子どもの健康を確保するため、子どもの医療費を助成する。小学校入学から高校卒業(18歳に到達する年度末)までの通院医療費及び、高校生世代の入院医療費を助成し、愛知県の補助事業『子ども医療費助成事業』とあわせ、出生から高校卒業までの医療費を助成していく。

領 収 証	
令和 7 年 3 月 31 日	
竹下 修平 殿	
¥ 141,570-	
但し 市政報号433 印刷代 ¥96,980-	
折込代 ¥31,720-	
消費税 10% ¥12,870-	
上記金額正に領収致しました	
内 現金	
小切手	
訳	
 〒441-1302 愛知 10-8 TEL (0536) 22-5012 登録番 024112	

(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ねないように貼付する